

ソフトボール部

全員がソフトボール初心者。笑顔、全力をモットーに高い目標を持って日々練習に励んでいます。

- か … 感謝（感謝する心、感謝される行動）
- じ … 自信（自信につながるだけの努力）
- か … 感動（感動を与え、感動を共有）
- せ … 積極性（自分から行動、攻めの姿勢）

角館高校ソフトボール部員が大切にする「心の四則演算」

- 足し算(+) … 人とたすけ合うこと
- 引き算(-) … 何事も率先して引き受けること
- 掛け算(×) … 声をかけ合うこと
- 割り算(÷) … 人をいたわること

◎社会貢献



令和6年4月26日午後2時頃、角館町地内の駐車場において転倒している高齢者を発見し、協力して救護を行い高齢者の自宅まで送り届けました。人命救助に貢献したことで、仙北警察署から感謝状、秋田県高等学校PTA連合会から善行賞をいただきました。

令和7年度大会成績

○全県高校女子ソフトボール選手権大会 優勝

[令和7年4月19日(土) 能代市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	1	3	1	2	1	5回コールド		8
由利・横手城南	0	0	0	0	0			0

バッテリー : 田口 - 三浦

二塁打 : 田口

初回、先頭の田口が三遊間を鋭く破るヒットで出塁すると、次打者の初球に盗塁を決め、無死2塁。2番三浦のバントで1死3塁となり、相手投手のワイルドピッチで先制点をあげた。その裏の相手の攻撃ではエース田口が3者連続三振にうちとる圧巻のピッチングを披露した。2回表の攻撃もスクイズやヒットエンドランで3点を追加し、4対0とリードを広げた。2回裏の相手の攻撃では、先頭打者に三浦が出塁を許し、1死2塁の場面となったが、ここで3塁手齋藤がファウルフライを好捕しピンチを救った。4回表に田口の2塁打と三浦のヒットで2点、5回表にもスクイズで1点を追加し、試合を優位に進めた。エース田口が2安打8奪三振の好投で相手打線を零封し、5回コールドで勝利をおさめた。翌日は荒天のため試合が中止となり、準決勝にコマを進めた4校が大会規定により同時優勝となった。



○高校女子ふれあいソフトボール大会 第9位

[令和7年5月3日(土)～5日(月) 石鳥谷ふれあい運動公園]

トーナメント1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
花巻東	0	0	2	0	0	時間制限		2
角館	0	0	0	0	0			0

順位決定トーナメント

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	4	2	0	0	4	時間制限		10
弘前中央	1	0	0	5	0			6

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	4	4	2	5回コールド		10
高田・宮古商工	0	0	0	0	3			3

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	2	0	0	3	0	2	0	7
花北青雲	1	0	0	0	0	0	0	1

○県南総体 優勝(4連覇)

[令和7年5月12日(土) 角館高校定時制校舎ソフトボール場]

決勝戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
湯沢翔北・横手城南	0	0	2	0	4回コールド			2
角館	9	0	3	×				12

バッテリー : 田口・齋藤・田口 - 三浦

本塁打 : 高橋(実) 2・田口

2塁打 : 山信田・山手

4番高橋(実)の2本の本塁打で試合を優位に進めた本校が投打で圧倒し、大会4連覇を果たした。

○全県総体 第3位

[令和7年5月31日(土)～6月1日(日) 由利本荘市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	5	1	5	7	4回コールド			18
湯沢翔北・横手城南	0	0	0	0				0

バッテリー : 田口 - 三浦

本塁打 : 田口

3塁打 : 田口

2塁打 : 三浦・齋藤

1回表に2番三浦、3番齋藤の連続2塁打で幸先良く2点を先制すると、盗塁や安打を重ねさらに3点を追加。1回裏の攻撃も危なげなく3者凡退に仕留め、完全に主導権を握った。3回表には、1番田口の豪快な2ランホームランで11対0とリードを広げた。守ってもエース田口が相手打線をノーヒットノーランに抑えるピッチングを披露し、快勝した。

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	0	0	0	0	5回コールド		0
秋 田 北	1	2	0	0	4×			7

バッテリー : 田口 - 三浦

準決勝の相手は、優勝した秋田北高校。序盤は、接戦を演じたが、守備の乱れからの献上点が重なり、惜しくも敗れた。



○県民スポーツ大会 第3位

[令和7年7月5日(土)～6日(日) 能代市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
大館桂桜・能代松陽・西目	0	0	0	0	0	2	1	3
角館	3	1	0	0	0	1	×	5

バッテリー：田口 - 三浦

初戦は、3校合同（大館桂桜・能代松陽・西目）チームと対戦。序盤から投打がかみ合い試合を優位に進めた。1年生を含む登録メンバー全員が試合に出場し、全員ソフトで1回戦を突破した。

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	0	0	0	5回コールド		0
新屋	0	0	4	4	×			8

バッテリー：田口 - 三浦

2塁打：永澤

準決勝の相手は、好投手を擁し、昨年秋の東北新人で優勝した新屋高校と対戦した。2回表、3回表に先制のチャンスをつかむなど序盤は試合を優位に進めた。強豪相手に互角以上に試合を展開する姿は、周囲に大きな感動を与えた。



本校の3選手の高い技術が認められ、秋田県代表13人のメンバーに選ばれました。8月23日～24日にかけて宮城県で行われた東北総体(国スポ予選)に、秋田県代表選手として参加しました。

○県南新人 優勝!

[令和7年9月6日(土) 湯沢翔北高校ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	3	2	4	4	0	0	1	14
湯沢翔北・横手城南	5	0	0	1	2	1	0	9

バッテリー : 山手 - 永澤

2塁打 : 高橋(結)・小林・永澤・鈴木・高谷

初回、3連続四死球で無死満塁のチャンスを作ると4番山手のセンター前ヒットと5番永澤のレフト前ヒットで3点を先制したが、守備の乱れが相次ぎ逆転を許す苦しい立ち上がりとなった。悪い流れで迎えた2回表の攻撃は、9番高谷のレフト前ヒットと1番高橋の死球で無死1、2塁のチャンスを作ると、2番小林が確実にバントでランナーを進め、1死2、3塁とし、バッテリーエラーの間に同点とした。4回表には2死満塁から2番小林が走者一掃の2塁打を放つなど4点を追加した。5回にも5番永澤の3塁線を抜く2塁打を皮切りに6番石郷岡のセーフティバント、7番鈴木のライト前ヒット、8番福岡のセンター前ヒット、9番高谷の3塁線を抜くヒット、1番高橋(結)のセーフティーバント、2番小林の三遊間を抜くヒットの7連打で4点を追加し、そのままリードを保ったまま優勝を果たした。



○全県新人

[令和7年10月4日（土） 由利本荘市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
湯沢翔北・横手城南	2	0	3	0	0	5回コールド		5
角 館	2	0	5	5	×			1 2

バッテリー : 山手 - 永澤

2塁打 : 石郷岡

1回戦は、同じ地区同士の対戦となった。県南新人とは全く違った試合展開で、両チームとも守備のミスから失点を重ねる形となった。盗塁やヒットエンドランなど、足を絡めた攻撃で3投手を攻略し、5回コールド勝ちをおさめた。

2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	0	0	1	4回コールド			1
由 利	1	1	3	6×				1 1

バッテリー : 山手 - 永澤

2回戦は、攻守ともに持てる力を発揮できず悔いの残る試合となってしまったが、合同チームが多くなっていく中で、9人の部員で最後まで戦い抜いた姿は高く評価された。



令和6年度大会成績

○全県高校女子ソフトボール選手権大会

[令和6年4月13日(土) 能代市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	0	1	0	0			0
新 屋	0	0	1	6	1×			8

バッテリー : 石郷岡 - 樫尾

二塁打 : 石郷岡

先発でマウンドにあがった石郷岡が2回までノーヒットの完璧なピッチングを披露。3回表2死から9番伊藤が見事なセーフティバントでチャンスを作ると1番石郷岡が左中間を破る2塁打を放ち1点を先制した。4回表に無死から守備のミスからランナーを背負うとさらにミスが続き、わずかヒット2本で6点を失ってしまった。7回裏に守備のミスから無死1, 3塁のピンチを招いたが、ここで磨いてきたトリックプレーを披露。厳しいジャッジとなったが、会場を大いに沸かせた。



○県南総体 優勝（3連覇）

角館 7-0 横手城南
 角館 7-0 湯沢翔北
 *人数不足の規定による

○高校女子ふれあいソフトボール大会 6位

[令和6年5月3日（金）～5日（日） 石鳥谷ふれあい運動公園]

予選リーグ 2勝0敗（1位通過）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	4	0	0	0	0	0		4
花北青雲	0	0	2	0	0	1		3

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	2	0	3	4				9
山形商業	0	2	3	2				7

順位決定リーグ 0勝2敗（5、6位決定戦へ）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	1	0	1	0	0			2
花巻東	0	5	0	0	4			9

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	0	0	0			0
新屋	1	4	3	0	×			8

順位決定戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
角館	2	2	0	0	4	2	0	2	0
一関第二	0	0	3	0	4	0	3	2	7

*試合途中で選手の負傷により棄権したため、公式記録は0対7となります。

○中央支部総体

[令和6年5月11日(土)～12日(日) 矢島ソフトボール場・矢島多目的運動広場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
聖 霊	0	0	0	0				0
角 館	2	1	3	4×				10

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
4校合同	1	0	0	0	1	3	0	5
角 館	1	0	0	1	0	0	0	2

○全県総体

[令和6年6月1日(土) 能代市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	0	0	0	0			0
秋 田 北	6	1	2	0	×			9

バッテリー : 石郷岡・北田・石郷岡 - 樫尾

初戦は、投打にバランスがとれた前年度優勝の秋田北と対戦。初回にチャンスを作るもチームカラーである機動力が上手く機能せず無得点。その裏に守備のミスが絡み、6点を先制される苦しい展開となった。高い志を持った選手が多く、どのチームにも負けない努力を積み重ねたことで、練習試合等で他県の強豪相手に接戦を演じるなど自信をつけて臨んだ大会ただけに悔しい結果となってしまった。攻めの姿勢を最後まで貫き、経験の浅い選手も優れたプレーが随所に見られ、周囲に大きな感動を与えた。



○県民体育大会

[令和6年7月6日(土) 能代市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	0	2	0	0	0	0	2
由 利	1	0	3	0	1	0	×	5

バッテリー : 石郷岡 - 樫尾

二塁打 : 石郷岡

初戦は、全県総体準優勝で東北大会にも出場した由利と対戦。終始互角の勝負を繰り広げたが、一歩及ばず惜敗した。チームを牽引し、集大成に相応しい戦いを繰り広げた3年生7人のプレーに大きな拍手が送られた。

○全県新人

[令和6年9月28日(土) 由利本荘市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	1	0	0	0			1
新 屋	3	0	1	3	1			8

バッテリー : 田口 - 三浦

初戦は、全県総体優勝の原動力となったバッテリーが残る強豪新屋と対戦となった。攻撃面では、好投手相手に持ち前の機動力が上手く機能した部分もあったが、攻めきれず追加点を奪うことが出来なかった。守備面では、エース田口の好投で打ち取った打球がほとんどであったが、連携ミスからの失点が響き、最後まで自分たちのペースに持ち込むことが出来なかった。得点差はあったが、内容的には互角以上に戦えている部分が多く、来季に向けて大きな希望の持てる試合となった。

令和5年度大会成績

○県南総体 優勝（2連覇）

[令和5年5月13日（土） 湯沢翔北高校ソフトボール場]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
湯沢翔北・聖霊	0	0	1	0	4回コールド				1
角館	10	4	9	×					23

バッテリー : 田口・井上・佐藤 - 藤元 (桔)

本塁打 : 田口

三塁打 : 長澤

二塁打 : 福岡・井上

決勝戦

角館 7 - 0 横手城南・西目

* 没収試合の規定による

初戦は、自分たちの持ち味を存分に発揮することが出来、終始優位に試合を展開することが出来た。3人の投手が、相手打線に的を絞らせない投球で上手く試合をコントロールした。攻撃では、長短打に加え、足を絡めた奇襲攻撃が上手く機能し、大量得点を奪うことが出来た。決勝戦は、相手選手の負傷による没収試合となり、2連覇を達成した。



○全県総体 第3位

[令和5年6月3日(土) 由利本荘市ソフトボール場]

2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	0	5	1	0	2	8
明桜	0	2	0	1	0	0	2	5

バッテリー : 田口 - 樫尾・藤元(桔)

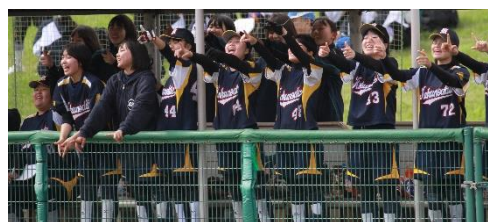
二塁打 : 福岡・樫尾

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	0	0	1	0	0	1
新屋	2	0	2	0	1	2	×	7

バッテリー : 田口 - 樫尾

初戦は、好投手を擁する明桜との対戦。初回、2死1、2塁の好機を作るも得点できず、2回裏に2点を先制される苦しい展開となった。2回表、3回表と3者凡退が続き、2点を追う4回表の攻撃も簡単に2アウトをとられ、暗雲が漂うもここから驚異的な粘りを見せた。5番北田、6番高橋(璃)の連続ヒットから7番福岡の四球で2死満塁。8番藤元(惺)、9番佐藤が厳しいボールをしっかりと見極め連続押し出し四球で同点。1番田口と2番長澤が連続タイムリーで続き、一挙5点をあげた。7回裏は、3年生9人が守備につき、リードを守った。準決勝の相手は、昨年の全県新人戦を制した新屋。気迫のこもった好プレーが随所に見られたが、惜しくも敗戦し、第3位という結果となった。



○県民体育大会 第3位

[令和5年7月1日(土)～2日(日) 能代市ソフトボール場]

1回戦

角館 7-0 明桜

*没収試合の規定による

2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
大館桂桜	2	0	1	6	0	0	0	9
角館	0	0	4	1	3	3	×	11

バッテリー : 田口(理)・佐藤 - 藤元(桔)・檜尾

二塁打 : 檜尾

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	0	0	0	0	0	0
由利	3	0	0	0	3	0	×	6

バッテリー : 田口(理) - 檜尾



○県南新人 優勝 3連覇

角館 7-0 横手城南

角館 7-0 湯沢翔北

*人数不足の規定による

○中央支部新人 第5位

[令和5年9月9日(土)～10日(日) 由利本荘市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	2	0	1	0		3
秋田北	0	0	6	1	1	2×		10

バッテリー : 北田 - 檜尾

順位決定トーナメント

1回戦

角館 7-0 能代松陽・横手城南・湯沢翔北

*人数不足の規定による

5, 6位決定戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	4	1	3	3	6	5回コールド		17
大館桂桜	0	0	0	2	1			3

バッテリー : 北田・田口 - 檜尾

本塁打 : 田口

3塁打 : 伊藤

2塁打 : 伊藤

1回戦は、優勝した秋田北高校と対戦。制球に苦しむ相手投手を攻め、幸先よく2点を先制したが、四球や守備の乱れからピンチを招き、得点を献上してしまった。内容的には、互角以上の戦いをしたが、攻守ともに本来の力を出し切れず、悔しい敗戦となった。

○全県新人

[令和5年9月30日(土) 由利本荘市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
由利	3	0	0	1	3	0	1	8
角館	0	0	1	0	0	0	0	1

バッテリー : 北田・石郷岡ー 樫尾

初回、公式戦に臨む緊張感から守備が思うように機能せず、3点を献上。その裏、先頭打者が出塁したものの後続が打ち取られ無得点。2回、3回と守備を立て直し、迎えた3回裏。ヒットと相手の守備妨害等を絡めて1点を返した後、一死2、3塁と攻めたが、後続が打ち取られ、1得点に終わった。その流れがそのままその後の守備に響き、追加点を献上。持てる力を全く出し切れず悔しい敗戦となった。

